

J Aバンク埼玉における地域密着型金融の取組状況（令和元年度）

J Aバンク埼玉（埼玉県下15 J Aと埼玉県信用農業協同組合連合会（以下、「信連」という。）」では、農業と地域社会に貢献するため、2019～2021年度 J Aバンク埼玉中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

令和元年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 （J Aバンク埼玉の農業メインバンク機能強化への取り組み）

J Aバンク埼玉は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取り組みを行っております。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク埼玉は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしております。

令和2年3月末時点の J Aバンク埼玉の農業関係資金残高^{（注1）}は14,209百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は7,126百万円を取り扱っております。

（注1）農業関係資金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

（注2）J Aバンク埼玉が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取り扱いを行っております。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

種 類	令和2年3月末現在
農業	
穀作	2,961
野菜・園芸	5,137
果樹・樹園農業	590
工芸作物	404
養豚・肉牛・酪農	301
養鶏・鶏卵	139
養蚕	—
その他農業	4,675
農業関連団体等	—
合 計	14,209

（注）

1 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれております。

2 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれております。なお、本残高には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	令和2年3月末現在
プ ロ パ ー 資 金	11,511
農 業 制 度 資 金	2,697
うち 農 業 近 代 化 資 金	2,312
うち そ の 他 制 度 資 金	384
合 計	14,209

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、農業制度資金以外のものをいいます。なお、プロパー農業資金には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の原資資金が含まれております。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的又は間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク埼玉が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としております。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

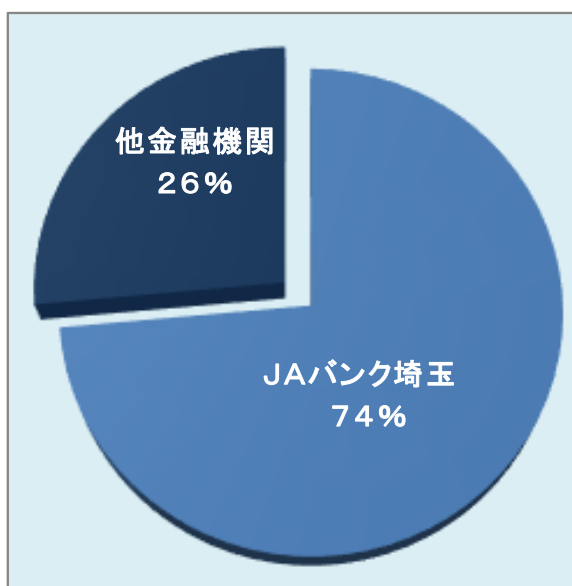
【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	令和2年3月末現在
日 本 政 策 金 融 公 庫 資 金	7,126
そ の 他	—
合 計	7,126

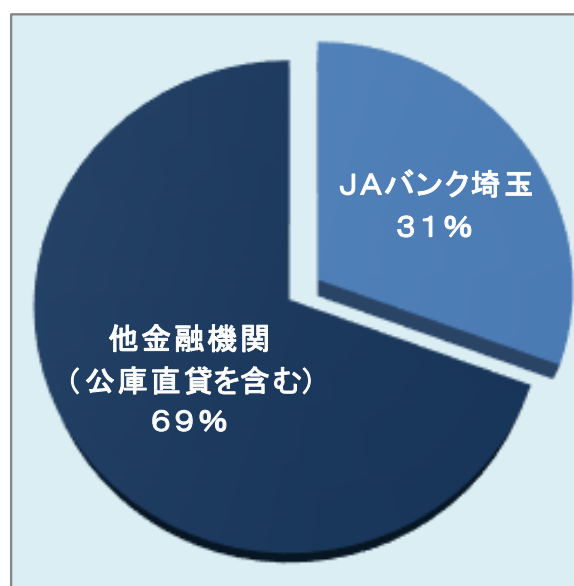
JAバンク埼玉は、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いにおいて、高いシェアを占めております。

【埼玉県の農業近代化資金及び公庫農業資金の残高シェア】

農業近代化資金
(令和元年12月末時点)



公庫農業資金
(令和2年3月末時点)



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク埼玉では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでおります。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しております。

信連では、J Aのサポート・指導機能、農業法人等への融資相談を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めております。

なお、こうした活動を支える体制として、県内15 J A及び信連の本店に、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を計28名配置しております（令和2年4月1日時点）。

また、農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的として、J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、県内では731名が取得しております（令和2年3月末時点）。

なお、J Aバンク埼玉では、信連ほか県域の各連合会が一体となり、共通機構である「担い手サポートセンター」を構築し、担い手への個別支援・事業提案等、事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでおります。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しております。

【具体的取組事例】

〈農業資金相談会の開催〉
担い手への対応力強化及び農業資金のPRのため、J A・信連・日本政策金融公庫の共催により農業資金相談会を実施しました。 〈令和元年度相談会開催実績〉 J Aさいたま：3日間、J Aいるま野：1日間、J A越谷市：2日間、 J A南彩：1日間、J A埼玉みずほ：2日間、J Aさいかつ：1日間、 J A埼玉中央：6日間、J Aちちぶ：2日間、J A埼玉ひびきの：13日間、 J Aくまがや：1日間、J Aふかや：2日間、J Aほくさい：2日間
〈農業資金活用促進のための研修会の開催〉
農業融資担当者を対象とした「農業融資担当者研修会」及び、延べ8日間の集合研修による「農業資金担当者育成プログラム」を行い、農業担い手の方への適切な対応ができるよう、各農業資金の商品概要及び提案方法等、実務に関する研修会を実施し、実務能力の向上を図りました。
〈農業機械大展示会への参画〉
県内J A、全農埼玉県本部等が主催し、担い手農家等に対する生産資材コスト削減及び適正機械の導入・利用促進を図ることを目的とした「農機大展示会」を年2回開催しました。信連はこの展示会に協賛し、農業融資商品のPR及び借入相談を実施しました。

(4) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援（商談会・ビジネスマッチング）

J Aバンク埼玉は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しております。

【令和元年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容
J Aグループさいたま 農畜産物商談会 2019	令和元年 10月31日	信連 全農さいたま	55	749	成約件数 20件

〈J Aグループさいたま農畜産物商談会 2019〉



(5) 生産者と消費者をつなげる場の設置

県やJAグループ等からなる彩の国食と農林業の祭典実行委員会では、生産者と消費者をつなげる交流イベントとして、「2019彩の国食と農林業ドリームフェスタ」(令和元年11月16・17日、まつばら綾瀬川公園)を開催いたしました。

このイベントは、食と農林水産業をアピールするとともに、来場者・生産者の交流を図り、県内農林水産業への理解を深めていただくことを目的とした県民参加の催しであり、51,000人の方にご来場いただき好評を博しました。

なお、JAバンク埼玉は、祭典実行委員会の構成員として参画しております。

〈2019彩の国食と農林業ドリームフェスタ〉



2 担い手の育成・経営等に係る支援

JAバンク埼玉は、担い手をサポートするため、次の取り組みを行っております。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク埼玉では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金などを取り扱っております。

【新規就農者をサポートする資金の取り扱い実績】

(単位：件、百万円)

種 類	令和元年度 実行件数	令和元年度 実行金額	令和2年3月末 残 高
青年等就農資金	49	284	823
就農支援資金	-	-	66
そ の 他	-	-	-
合 計	49	284	889

(2) J Aバンク埼玉講演会・セミナー等の開催

J Aバンク埼玉では、農業者等のお取引先様を招いた相続セミナーを開催しております。また、セミナー開催後には個別相談も実施しており、お取引先様の相談ニーズに適切な対応を図っております。

【講演会・セミナー開催実績】

講演会名	主催者	参加人数	個別相談会参加人数	講演内容
J A 相 続 セミナー	J A さいたま	85名	11名	講師 埼玉県信連契約FP 題目「相続への備えと遺言の必要性」
	J A いるま野	78名	13名	
	J A 越谷市	44名	5名	
	J A 埼玉みずほ	31名	4名	
	J A 埼玉中央	17名	2名	
	J A くまがや	14名	3名	
	J A ふかや	-名	2名	
	J A ほくさい	-名	1名	
合計	8 J A	269名	41名	

(3) 被災者・生産資材高騰等への支援

J Aバンク埼玉では、自然災害等が発生し、被災者の支援が必要となった場合には、災害対策窓口の設置や災害対策資金の創設、個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等の対応をしております。

(単位：件、百万円)

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
令和元年 5 月の降雹被害にかかる災害復旧資金	J A いるま野	降雹で被害を受けた農作物並びに農業用施設の復旧のために保証料を J A が負担し、無利子の資金対応を実施。	0	0
令和元年 10 月の台風 19 号被害にかかる災害復旧資金		台風 19 号で被害を受けた農作物並びに農業用施設の復旧のため保証料を J A が負担し、無利子の資金対応を実施。	3	7
令和元年度台風 19 号災害支援資金の対応	J A 埼玉中央	令和元年度台風 19 号により被害を受けた組合員を支援し、農業経営並びに生活回復に資することを目的とし創設。	0	0
令和元年 10 月の台風 19 号被害にかかる災害復旧資金	J A ほくさい	台風 19 号で被害を受けた農作物並びに農業用施設の復旧のため保証料を J A が負担し、無利子の資金対応を実施。	4	19
合 計			7	26

(4) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク埼玉では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議等を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでおります。

【令和元年度の農業者の経営改善支援等の取り組み実績】

(単位：先数)

		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再 生計画を策 定した先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c	事業計画策 定率 = a / A	ランクアッ プ率 = b / A
正常先①		1	-		1	0.0%	
要注意 先	うち						
	その他要注意先②	-	-	-	-	-	-
	うち要管理先③	-	-	-	-	-	-
破綻懸念先④		3	3	-	3	100.0%	0.0%
実質破綻先⑤		1	1	-	1	100.0%	0.0%
破綻先⑥		-	-	-	-	-	-
	小計(②～⑥の計)	4	4	-	4	100.0%	0.0%
合計		5	4	-	5	80.0%	0.0%

(注) 期初経営改善支援取組先及び債務者区分は令和2年3月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク埼玉では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めております。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク埼玉では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

【令和元年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	令和元年度 実行件数	令和元年度 実行金額	令和2年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	0
畜産特別資金	0	0	0
その他	0	0	0
合計	0	0	0

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク埼玉では、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っております。

(1) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク埼玉は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでおります。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の小学校へ、78, 933セット配布され、学校の授業等において活用されております。また、特別支援学級を扱う小学校12校及び特別支援学校12校へ951セット配布いたしました（令和元年度実績）。

その他、県下J A・信連では、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでおります。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動内容
J Aさいたま	○各種農業体験学習の実施（稲作、畑作等） ○学校給食への食材提供 ○夏休みこども村の開催 ○親子サッカースクールの開催
J Aあさか野	○親子日帰り農業・収穫体験ツアー ○食農教育の出前授業 ○各種農業体験学習の実施（稲作等） ○学校給食への食材提供
J Aいるま野	○農業・収穫体験懸賞付定期積金の募集 ○各種農業体験の実施（稲作） ○学校給食への食材提供
J A越谷市	○各種農業体験学習の実施（稲作、野菜等） ○学校農園・田植・稲刈体験学習 ○学校給食への食材提供 ○地域運動会へのお米の贈呈 ○市内小学校へ横断旗及び「ちゃぐりん」贈呈
J A南彩	○各種農業体験学習の実施（稲作、野菜等） ○食農教育の出前授業 ○夏休みこども村の開催
J A埼玉みずほ	○農機展示会での農業資金相談 ○埼玉の家子育て応援・家族のきずな応援・エコな暮らし応援 適用者に対する住宅ローン金利軽減 ○新米フェアの開催
J Aさいかつ	○夏休みこども村の開催 ○管内小学校社会科学習・施設研修会 ○管内中学生職場体験学習 ○食農教育の出前授業（稲作、野菜）

J A名	活動内容
J A 埼 玉 中 央	○親子農業体験教室の実施（さつまいも） ○コープみらい「たんぼの学校」の実施 ○夏休みこども村の開催
J A ち ち ぶ	○学校給食への食材提供 ○サッカー大会の開催 ○週末農業塾の開催
J A 埼玉ひびきの	○各種農業体験学習の実施（稲作、畑作等） ○梨収穫体験学習 ○小学校運動会・地域スポーツ大会への記念品贈呈 ○食農教育の出前授業（稲作、野菜等）
J A ふ か や	○各種農業体験学習の実施（稲作等） ○野菜栽培・収穫体験の実施（さつまいも・ブロッコリー等）
J A ほ く さい	○田植え・稲刈り体験の実施

（２）埼玉県パパ・ママ応援ショップへの協賛

J Aバンク埼玉では、少子化対策として埼玉県が市町村・企業と連携して子育て家庭を応援する「パパ・ママ応援ショップ」事業に協賛し、子育て支援に取り組んでおります。

【パパ・ママ応援事業の活動内容】

J A名	具体的協賛活動内容
J A さ い た ま	○住宅ローンの金利軽減 ○定期積金の金利上乗せ
J A あ さ か 野	○定期貯金・定期積金の金利上乗せ ○住宅・マイカーローンの金利軽減 ○こども共済契約者へ粗品贈呈 ○お米の割引
J A い る ま 野	○購買品の割引 ○定期貯金・定期積金の金利上乗せ ○各種ローンの金利軽減
J A 南 彩	○住宅・マイカーローン等の金利軽減 ○定期貯金・定期積金の金利上乗せ
J A 埼玉みずほ	○住宅ローンの金利軽減
J A さ い か つ	○定期積金の金利上乗せ ○住宅・小口ローンの金利軽減
J A 埼 玉 中 央	○定期積金の金利上乗せ ○住宅ローンの金利軽減 ○お米の割引
J A ち ち ぶ	○住宅ローンの金利軽減
J A 埼玉ひびきの	○定期貯金・定期積金の金利上乗せ ○住宅・マイカー・教育・リフォームローンの金利軽減 ○お米の割引

J A 名	具体的協賛活動内容
J A くまがや	○住宅・マイカー・リフォーム・教育ローンの金利軽減
J A ふかや	○住宅ローンの金利軽減
J A ほくさい	○定期貯金・定期積金の金利上乘せ ○米の割引
埼玉県信連	○定期貯金・定期積金の金利上乘せ

〈パパ・ママ応援ショップ〉



(3) 環境保全活動

信連は、公益社団法人埼玉県農林公社と協働し、埼玉県農林公園の清掃活動を行いました。掃き集めた落ち葉は堆肥にされ、園内の畑で利用されます。

また、水源地の保全や地球温暖化防止などに貢献するため、間伐等の森林整備作業を行うとともに、森林整備に係る活動費の一部を助成しています。

これにより令和元年度は、CO₂吸収量13.3t/年の認証を取得いたしました。

〈埼玉県農林公園の清掃活動〉



埼玉県森林CO₂吸収量認証書

埼玉県森林CO₂吸収量認証書

埼玉県信用農業協同組合連合会
代表理事理事長 松本 俊一 様

令和元年度に貴社が森林整備活動を行った森林のCO₂吸収量について、次のとおり認証します。

CO₂吸収量 13.3 t-CO₂/年

認証の対象	森林の所在	秩父郡曾根町大字三沢字芳ノ木地内
	森林の種類	24年生 ヒノキ林
	森林の面積	1.3ヘクタール
認証内容の有効期間	認証書交付日から令和4年3月31日まで	
参考指標	認証する吸収量は、人間の呼吸によるCO ₂ 年間排出量に換算すると、4.1人分に相当します。	

この認証書は、申請者の社会貢献活動の証として、埼玉県が認証した森林のCO₂吸収量として、広域活動等が定めた使途に利用することができます。

令和2年3月3日



埼玉県知事 大野 元裕



以上